

決算補足資料 - 2024年8月期

暁飯島工業株式会社 (1997)



人にやさしい、地球にやさしい。

1. **暁飯島工業のご紹介**
2. 2024年8月期決算概要と今期の見通し
3. 将来に向けた方向性



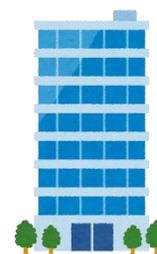
人にやさしい、地球にやさしい。

3つの事業分野と特徴

茨城県を中心とした空調・衛生設備工事のトップランナー

売上構成

56%



建築設備事業

様々な条件・用途に沿った建物に対する空調・衛生設備の設計及び施工。対象は、事務所・医療・スポーツ施設、研究施設など

28%



リニューアル事業

既存建物の非効率な設備を、最新設備・省エネ設備へと刷新し、省エネ、低炭素な建物へと転換

16%



ビルケア事業

高度なスペシャリストとサービス体制による定期検査、メンテナンス、設備運転管理により、常に安心感のあるビル空間を提供



建築設備事業



人にやさしい、地球にやさしい。

水戸市民会館



©「川澄・小林研二写真事務所」

水戸市庁舎



アパホテル国会議事堂前



- 茨城県内総合設備工事会社のトップランナーを自負し、事務所・医療・スポーツ施設、美術館、その他施設等様々な条件・用途に沿った設備工事に対応可能な体制を構築
- 管理・メンテナンス、リニューアルまでを見据えた長期的な目線で、設計・施工サービスを提供

龍ヶ崎市学校給食センター

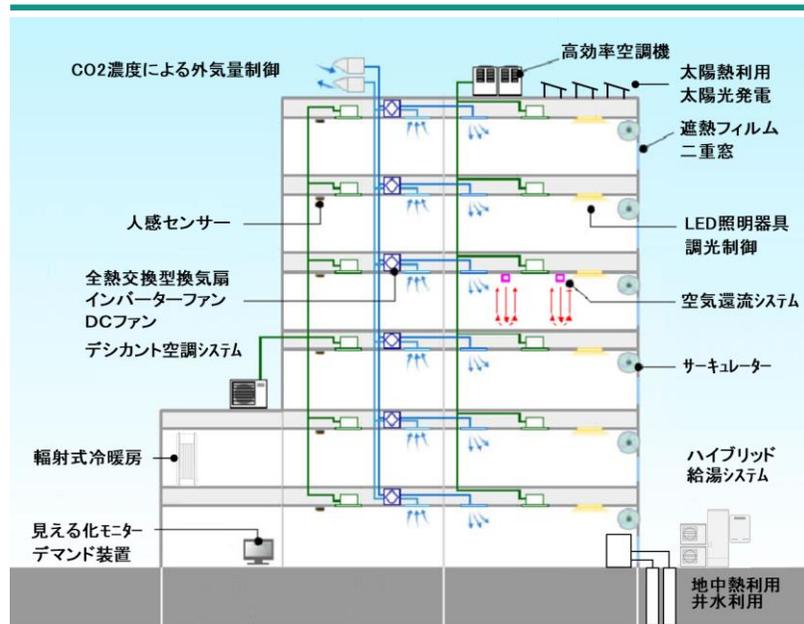




人にやさしい、地球にやさしい。

リニューアル事業

省エネ改修工事



- リニューアル事業では、省エネルギー化、低炭素化に向けた工事に注力
- 設備刷新による機能性や快適性の向上と、環境負荷の軽減を両立するとともに、中長期的な設備のランニングコストの低下を実現する

冷却塔 → 空冷チラーユニット



改修前



改修後

一定速エアコン → 高効率（高COP）エアコン



改修前



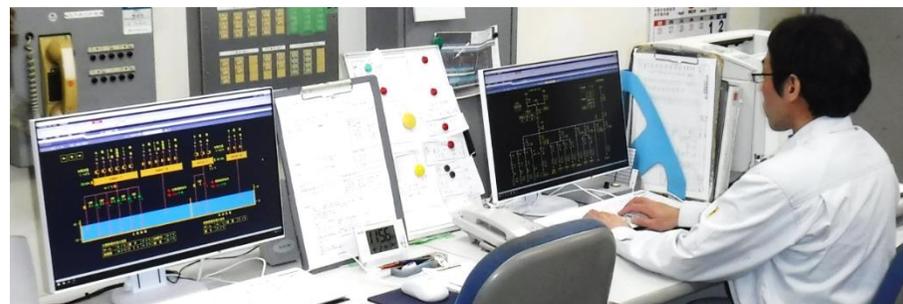
改修後



空調機制御盤点検



水戸芸術館（集中制御）



加圧給水ポンプ点検



- 設備の管理・メンテナンスは、機械や電気など、多様な専門性を持つ技術者により実施
- 一部の施設では24時間体制での管理・メンテナンス体制を構築

社是・シンボルマーク・沿革



人にやさしい、地球にやさしい。

社是

健全なる企業活動を通じ
誠意を以って社会に貢献する

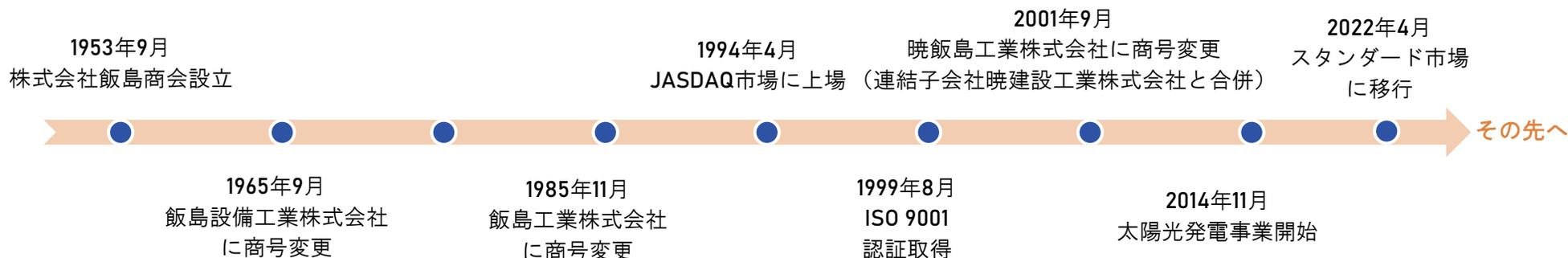
シンボルマーク



ひとにやさしい、
地球にやさしい。

沿革

創業70年を超え、100年企業を目指して邁進します。





ビル空間のスペシャリストとして



誠意をもって 頼られる存在

「ヒト」「モノ」「社会」が存在する空間に、常に最適な環境を提供する専門家として、お客様から「頼られる存在」としてあり続けること

最適なソリューションを提供

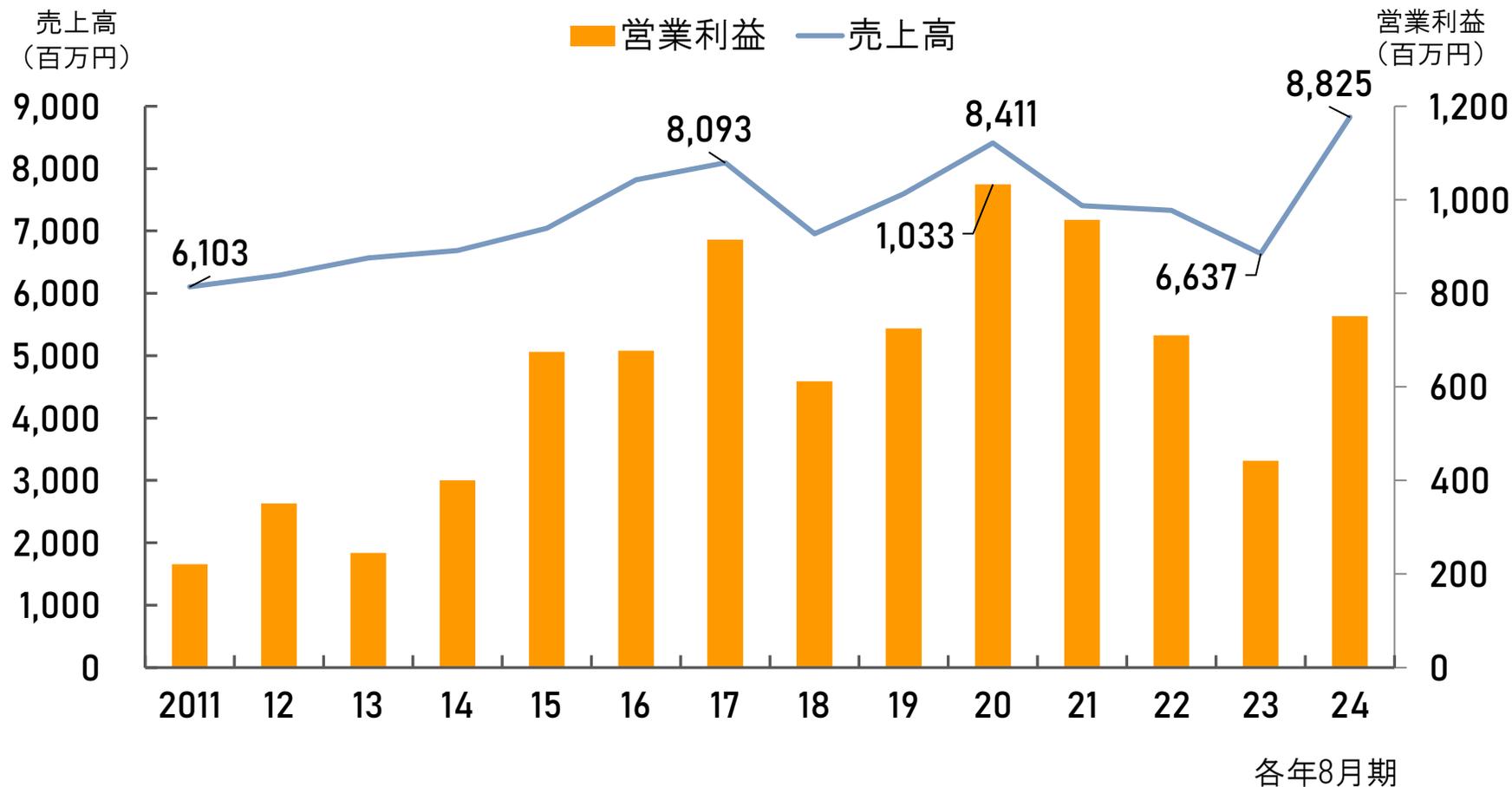
お客様に適切なタイミングでリニューアル提案を実施し、状況に応じて最適なソリューションを提供する価値

エリアでトップ の実績と技術

水戸・つくば・東京の3拠点を基盤とし、茨城、東京を中心に事業を展開。茨城県では、実績・技術力ともに設備工事のトップを走る



建設市場の縮小に対応し利益を生む事業へと体質を転換



会社概要



人にやさしい、地球にやさしい。



社名	暁飯島工業株式会社
設立	1953年9月
事業拠点	本社 茨城県水戸市千波町2770番地の5 東京支店 東京都台東区上野7丁目6番11号 つくば支店 茨城県つくば市高野台2丁目10番1号
資本金	1,408百万円
株式	東京証券取引所スタンダード〈1997〉
代表者	代表取締役社長 植田 俊二
従業員数	155名（2024年9月）
ウェブサイト	https://www.eazima.co.jp/



人にやさしい、地球にやさしい。

1. 暁飯島工業のご紹介
2. **2024年8月期決算概要と今期の見通し**
3. 将来に向けた方向性



人にやさしい、地球にやさしい。

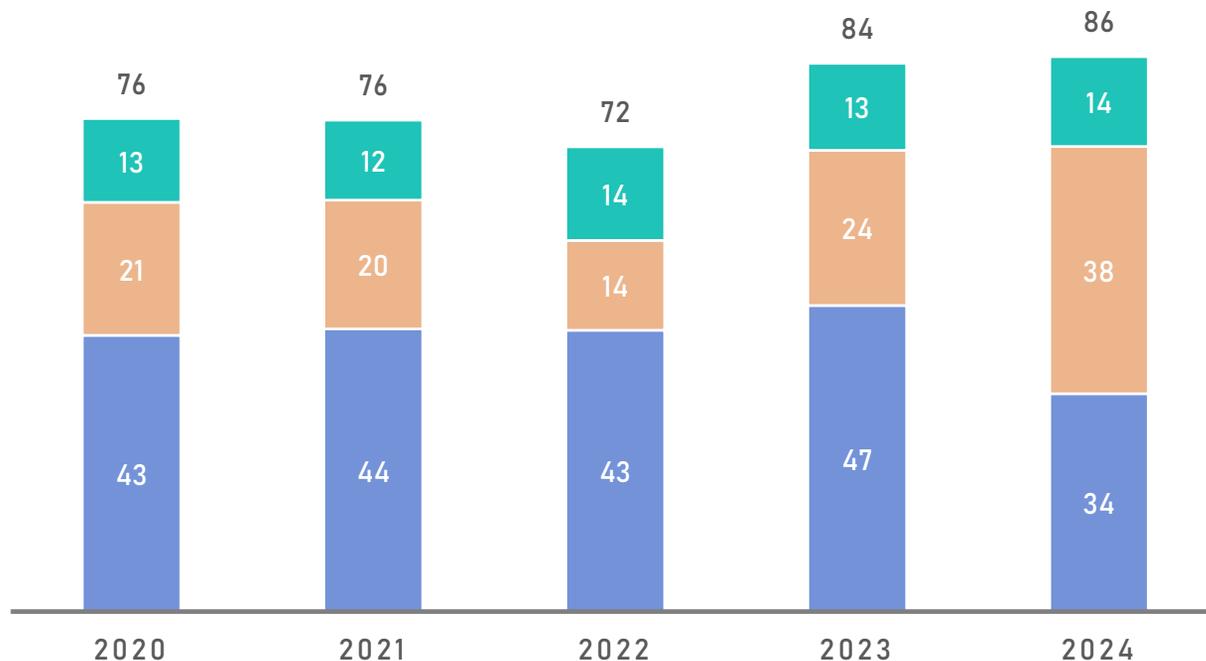
受注工事高の状況

技術者の不足、建設コスト上昇で受注競争激化も前年比上回る

工事受注高の推移

■ 建築設備事業 ■ リニューアル事業 ■ ビルケア事業

単位：億円



- 官公庁・民間ともに設備投資額は一定の水準を維持するも、需要の急激な変動に伴うサプライチェーンの混乱等による工期延長傾向が見受けられるため投資動向を注視
- 慢性的な技術労働者の不足と建設コスト上昇により受注競争は激化
- 設備工事の施工管理や保守管理において、リニューアル・メンテナンス分野の企画提案力、技術競争力及び価格競争力を強化して対応



人にやさしい、地球にやさしい。

2024年8月期 財務ハイライト

売上高及び工事利益率上昇に伴い前期比及び計画比ともに上回る

- 2024年8月期は、売上高及び工事利益率ともに増加し、営業利益、経常利益及び当期純利益が上回る結果

百万円	2023/8	2024/8 計画値	2024/8	前期比	計画比
売上高	6,637	8,700	8,825	33.0%	1.4%
営業利益	442	630	751	69.8%	19.2%
- 営業利益率	6.7%	7.2%	8.5%	1.8P	+1.3P
経常利益	470	650	783	66.4%	20.4%
当期純利益	313	440	559	78.4%	27.0%
1株当たり 当期純利益	155.82	216.72	275.74	76.9%	27.2%
自己資本利益率	5.1%	8.0%	8.5%	3.4P	+0.5P
1株当たり配当金	55円	50円	75円	20円	+25円



人にやさしい、地球にやさしい。

売上高の推移

前期の手持工事高が増加したことから一定の期間にわたり収益認識する完成工事高が増加

- セグメント別売上高及びエリア別売上高共に前期比より増加
- 戦略エリアのつくば及び東京エリアは共に前期比より増加

百万円	2022/8	2023/8	2024/8	前期比
事業セグメント別売上高				
建築設備事業	3,870	3,745	4,904	30.9%
リニューアル事業	1,905	1,432	2,299	60.5%
ビルケア事業	1,419	1,326	1,434	8.1%
太陽光発電事業他	137	134	188	40.3%
エリア別売上高				
水戸エリア	4,177	3,940	5,094	29.2%
つくばエリア	1,833	1,144	1,918	67.6%
東京エリア	1,322	1,553	1,813	16.7%
売上高 合計	7,332	6,637	8,825	33.0%

* つくばエリアは、つくば市を中心とした茨城県南及びその隣接地域。水戸エリアはつくばエリア以外の茨城県、東京エリアは、東京都等、茨城県以外の関東圏を含む

主な工事物件



人にやさしい、地球にやさしい。

完成物件事例



クボタ筑波工場東日本部品センター新築設備工事

主な受注物件

医療法人社団青燈会小豆畑病院移転新築設備工事

水戸駅前三の丸地区再開発新築設備工事

茨城県庁舎ヒートポンプ更新設備工事

重要文化財鹿島神宮本殿ほか6棟防災設備整備工事

都立桐ヶ丘高等学校(6)改築及び改修給水衛生設備工事

つくばメディカルロジスティクスセンターⅡ期新築設備工事

主な完成物件

クボタ筑波工場東日本部品センター新築設備工事

4-5国補みどりの学校プール建設工事機械設備工事

流山市南流山中学校移転改修設備工事

株式会社くらもち坂東GPセンター新築設備工事

鹿島新可燃ごみ処理施設整備事業建設設備工事

龍ヶ崎市学校給食センター整備事業建設設備工事



人にやさしい、地球にやさしい。

利益の増減要因

受注時採算性の強化等により工事利益率が上昇

- 工事利益率の向上に向けた受注時採算性の強化や原価及び施工管理の徹底を図り、工事利益率上昇

百万円	2023/8	2024/8	前期比
完成工事高	6,503	8,637	32.8%
完成工事総利益	982	1,351	37.6%
- 完成工事総利益率	15.1%	15.7%	0.6P
太陽光発電事業他売上高	134	187	39.8%
太陽光発電事業他売上総利益	58	58	0.5%
売上高 計	6,637	8,825	33.0%
売上総利益 計	1,041	1,410	35.5%
- 売上総利益率	15.7%	16.0%	0.3P
販管費	598	659	10.2%
- 販管费率	9.0%	7.5%	△1.5P
営業利益	442	751	69.8%
- 営業利益率	6.7%	8.5%	1.8P



人にやさしい、地球にやさしい。

資産・負債の状況

資産・負債ともに 前期比増加も財務 安定性は概ね安定

- 完成工事未収入金の減少により売上債権の減少
- 借入金の返済により固定負債の減少

	百万円	2023/8	2024/8	前期比
自己資本比率		66.4%	66.1%	△0.3P
有利子負債残高		888	620	△267
有利子負債自己資本倍率		0.14倍	0.09倍	△0.05
流動資産		6,283	6,974	691
現金預金		4,153	5,042	889
売上債権		1,701	1,300	△400
固定資産		3,266	3,335	69
資産合計		9,549	10,310	760
流動負債		2,459	2,962	503
仕入債務		1,540	1,469	△71
固定負債		746	536	△209
純資産合計		6,344	6,810	466



2025年8月期の業績見込み・株主還元

人にやさしい、地球にやさしい。

2025年8月期 業績予想

百万円	2024/8	2025/8 計画	前期比
売上高	8,825	8,800	△0.3%
営業利益	751	750	△0.1%
営業利益率	8.5%	8.5%	—
経常利益	783	780	△0.4%
当期純利益	559	530	△5.2%
自己資本利益率	8.5%	9.0%	0.5P

- 設備投資の中止や延期及び工期延長等により、受注競争の更なる激化や工事利益率の低下が予想される
- コスト面でも、技術労働者不足や資源価格高騰や需給バランス悪化等による建設コストの上昇は今後も継続し、工事利益の圧迫要因と予想
- 第Ⅱ期中期経営計画で掲げた施策の着実な実行

株主還元の基本方針

- 株主に対する利益還元を最重要政策の一つとして位置付け、将来の経営環境への対応や厳しい競争に勝ち抜くため、財務面での健全性を維持しつつ利益水準に勘案した成果の配分を行うこと
- 自己株式の取得について業績の動向などを総合的に勘案し、機動的に実施

	2023/8	2024/8	2025/8 計画
1株当たり利益 (円)	155.82	275.74	262.00
1株当たり配当金 (円)	55.00 (記念配当10円含む)	75.00 (特別配当25円含む)	65.00
配当性向	35.3%	27.2%	24.8%
総配分性向	35.3%	30.2%	24.8%



人にやさしい、地球にやさしい。

1. 暁飯島工業のご紹介
2. 2024年8月期決算概要と今期の見通し
3. 将来に向けた方向性



人にやさしい、地球にやさしい。

2030年に向けた長期ビジョン

NEXT Akatsuki Eazima VISION2030

～選ばれる会社へ～

- 空間のスペシャリストとして誠意をもってお客様と接し、「頼られる存在」になることで選ばれ続けるトップランナー
- きれいな水と空気を次世代に繋ぎ、持続可能な社会の実現に挑戦するトータルエンジニアリング集団
- 社員の幸せと地域の繁栄を追求し、成長し続ける会社

目指す姿を実現する重点戦略

2030年度 売上高100億、100年続く企業を目指す

確固たる 地位の確立	1	確固なビル空間事業サイクルの実現
	2	つくば、東京エリアの強化
次の成長 基盤づくり	3	ビル空間事業サイクルの拡張
	4	新規領域への進出
魅力ある 企業へ	5	資本市場の期待に応える企業価値の向上
	6	持続可能な社会への貢献



A	社内業務改革
B	ビル空間事業サイクル強化
C	トータルエンジニアリング集団に向けた人材育成
D	BIM・ZEB等を活かした提案+新規領域
E	サステナビリティへの取り組み

10年後のビジョン実現へのステップと第Ⅰ期の基本方針



人にやさしい、地球にやさしい。

次の10年間で3期間に分け、ビジョンを段階的に実現していく

- ➔ 選ばれるトータルエンジニアリング集団への変革に向けた第Ⅰ期として、新たな事業基盤、経営基盤を構築する
 - 強固なビル空間事業サイクル実現への基盤構築
 - 空間のスペシャリストの育成と人材確保、及び社員の幸福の追求
 - 資本市場との対話促進
- ➔ 変革された基盤を土台とした、トータルエンジニアリング集団としての躍進
 - ビル空間事業サイクルの拡張による新たなAEの成長モデル創出
- ➔ 空間のスペシャリストとして、選ばれるトータルエンジニアリング集団へ
 - 持続可能な社会に貢献する次期成長モデルへの始動

第Ⅰ期
「変革の基盤構築」
(2021～23年度)

第Ⅱ期
「新たなAE
の躍進」
2024～26年度

第Ⅲ期
「次期成長
モデルへの
準備」
2027～30年度



人にやさしい、地球にやさしい。

第Ⅱ期の基本方針と課題

空間のスペシャリストとして選ばれ続けるため、新たなステージへ挑戦する

第Ⅱ期 基本方針

- 第Ⅰ期の事業基盤構築に向けた施策を継承し、強固なビル空間事業サイクルによる高収益体質への挑戦
- 空間のスペシャリストとして、人材を確保・育成し、社員が誇りと幸せを実感できる職場づくり
- サステナビリティの取り組みを重要な経営課題と位置づけ、解決に向けて取り組むことで、持続可能な地域社会の実現に貢献し、企業価値の向上に努める
- 持続的成長を可能とするコーポレート・ガバナンス体制の整備

目指す姿を実現する重点戦略

A 社内業務改革

- ①業務標準化による効率化
- ②IT推進

C トータルエンジニアリング集団 に向けた人材育成

- ①技術の伝承
- ②社内外研修
- ③資格取得支援

E サステナビリティへの取り組み

- ①環境
- ②地域貢献
- ③多様性・人権・調達
- ④労働安全性
- ⑤人材育成
- ⑥情報セキュリティ
- ⑦ガバナンス

B ビル空間事業サイクル強化

- ①品質
- ②受注強化
- ③顧客提案
- ④コスト改善
- ⑤リニューアル
- ⑥保守点検
- ⑦戦略エリア

D BIM・ZEB等を活かした 提案＋新規領域

- ①省エネ・環境提案
- ②BIM・ZEB提案
- ③ベンチャー企業投資
- ④新規領域

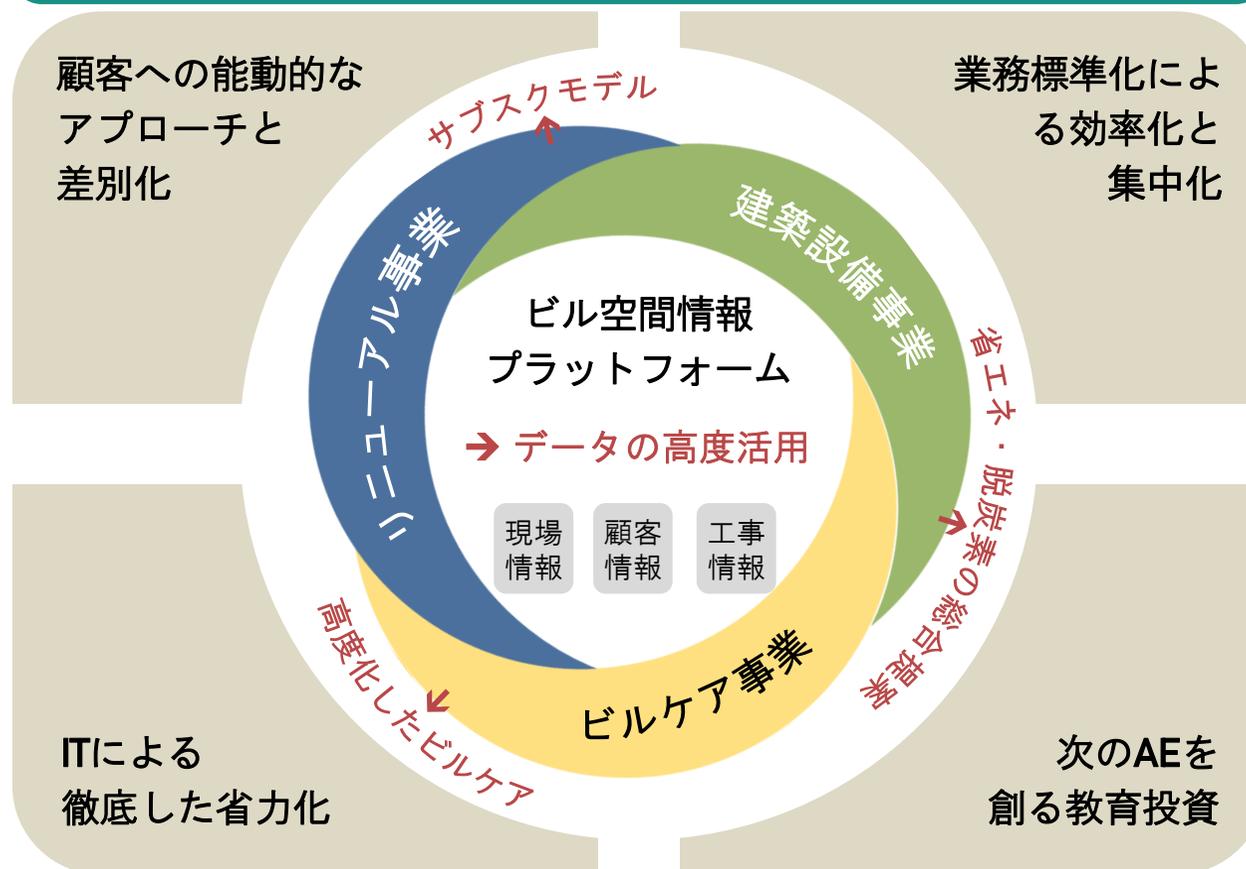


人にやさしい、地球にやさしい。

強固なビル空間事業サイクルの実現

- ビル空間情報をプラットフォームとして、シームレスなビル空間事業サイクルを実現
- プラットフォーム上のデータ活用を高度化し、サイクルを強化・拡張していく

空間のスペシャリストとして、選ばれるトータルエンジニアリング集団



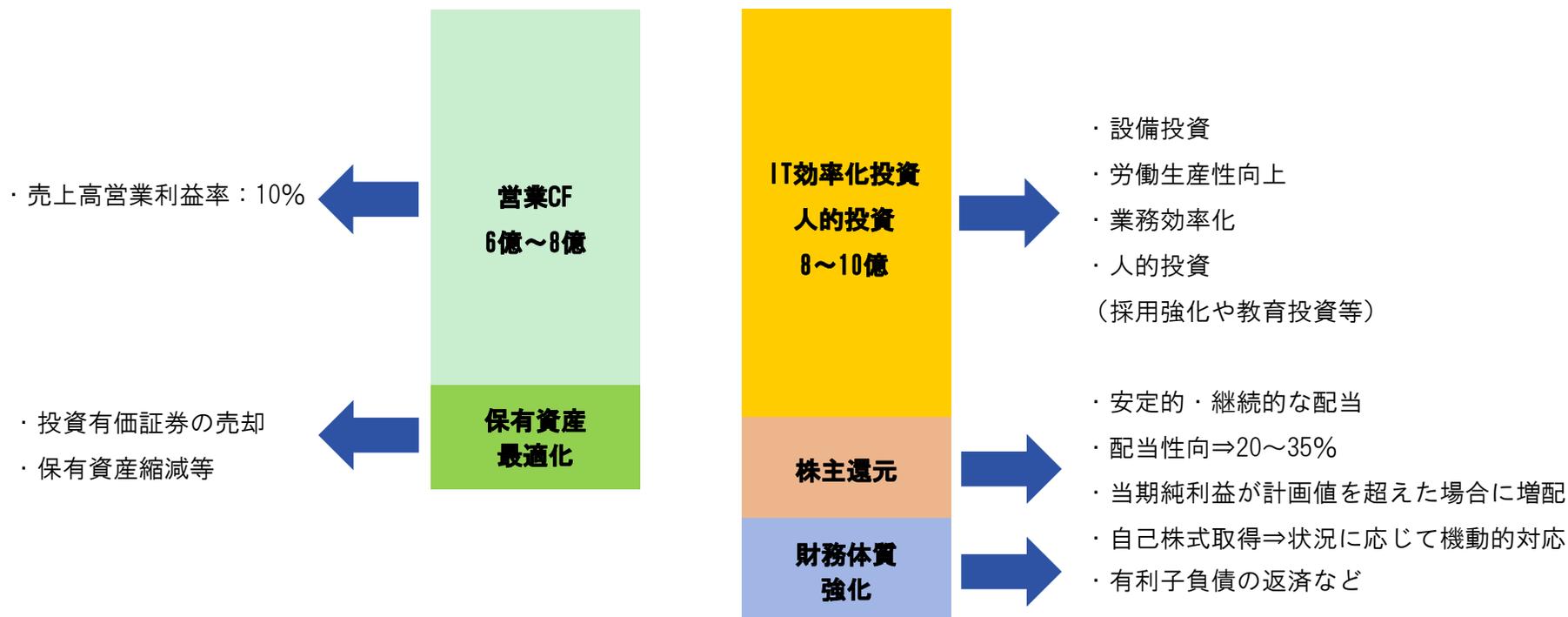


人にやさしい、地球にやさしい。

資本政策・配当政策

本業である設備工事業の利益成長により営業キャッシュ・フローを創出し、基盤事業への投資（設備投資・業務効率化・人材育成や採用強化など）を行い資本コストを上回るリターンへ

2024年8月期～2026年8月期 累計額
資本コスト<自己資本利益率



IRに関するお問い合わせ先

暁飯島工業 管理統括部

〒310-0851 茨城県水戸市千波町2770番地の5

TEL : 029-244-5111 / E-Mail : info@eazima.co.jp